

福井大学病院卒後臨床研修

地域保健・医療研修施設紹介



- あわら病院
- ディーパあかね、アルマ千寿
- 福井社会保険病院
- 大滝病院
- 福井厚生病院
- 福井健康福祉センター
- 福井県赤十字血液センター
- 福井産業保健推進センター
- 奥越健康福祉センター
- 織田病院
- 池田町診療所
- 林病院、中村病院、池端病院
- 和田診療所
- 社会保険高浜病院
- 名田庄診療所
- フジ虎ノ門健康増進センター
(静岡県御殿場市)

平成 21 年度地域保健・医療研修施設

施設名	住所	電話
	HP アドレス	掲載ページ
穂仁会大滝病院	福井市日光 1-2-1	0776-23-3215
	http://www.otaki-hp.or.jp/	P 1
福井厚生病院	福井市下六条町 201	0776-41-3371
	http://www.fukui-kosei-hp.or.jp	P 3
国立病院機構あわら病院	あわら市北潟 238-1	0776-79-1211
	http://www.hosp.go.jp/~awara/	P 5
福井社会保険病院	勝山市長山町 2-6-21	0779-88-0350
	http://www.fsih.jp	P 8
林病院	越前市府中 1-5-7	0778-22-0336
	http://www2.interbroad.or.jp/hayasi/	P 10
中村病院	越前市天王町 4-28	0778-22-0618
	http://nakamura-hp.or.jp	P 12
池端病院	越前市今宿町 8-1	0778-23-0150
	http://www.ikebata.jp/	P 13
越前町国民健康保険織田病院	丹生郡越前町織田 106-44-1	0778-36-1000
	http://www.ota-hosp.jp/	P 15
高浜町国民健康保険和田診療所	大飯郡高浜町和田 117-68	0770-72-6136
	http://www.wadashin.net	P 16
社会保険高浜病院	大飯郡高浜町宮崎 87-14-2	0770-72-0880
	http://www.takahamahp.com/	P 18
介護老人保健施設ディーパあかね	坂井市丸岡町羽崎 31-12-1	0776-67-1120
	http://www.akanekai.jp	P 19
福井県福井健康福祉センター	福井市西木田 2-8-8	0776-36-1117
	http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/fukui-hwc/	P 21
福井県奥越健康福祉センター	大野市天神町 1-1	0779-66-2076
	http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/okuetu-hwc/	P 23
福井県赤十字血液センター	福井市月見 3-3-23	0776-36-0221
	http://www.fukui.bc.jrc.or.jp/	P 25
フジ虎ノ門健康増進センター	静岡県御殿場市川島田 1607-1	0550-89-7872
	http://www.toranomon.or.jp	—
おおい町国民健康保険名田庄診療所	大飯郡おおい町名田庄下 6 - 1	0770-67-3037
	http://	—
池田町国民健康保険池田町診療所	今立郡池田町藪田 5-3-1	0778-44-6021
	http:// www.town.ikeda.fukui.jp/	—
介護老人保健施設老健アルマ千寿	福井市川合鷺塚町 49-5	0776-55-1600
	http://www.senjukai.com	—
福井産業保健推進センター	福井市大手 2-7-15 明治安田生命ビル 5 階	0776-27-6396
	http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~sanpo18/	—

研修施設選択に当たりの留意事項

1. この冊子には次年度地域保健・医療の研修施設を紹介しています。研修先は皆さんの希望に基づいて決定しますが、希望者が集中する場合は希望どおりにならないことがあります。
2. この冊子に掲載のない施設についてはホームページなどを参考にしてください。なお、これらの施設の中には次年度都合により受入できないところもありますので、事前に研修係を確認してください。
3. 研修期間は1ヶ月又は3ヶ月となっていますが、施設によっては3ヶ月研修に対応できないところもあります。3ヶ月研修を希望する場合は事前に研修係を確認してください。
4. 保健所（福井健康福祉センター、奥越健康福祉センター）については他病院からの受入研修医も多いため限度数が設定されています。次年度の受入可能は未定ですが今年はそれぞれ4名でした。
5. どの施設で研修する場合でも、研修期間中に赤十字血液センターの献血研修が数日間含まれます。献血研修の実施方法は各施設により異なります。事前に知りたい場合は研修係に問い合わせてください。
6. 学外研修中の身分や研修方法について、研修施設と「研修医出向に関する申し合わせ」を締結しています。内容は次ページに掲載していますので、研修に際して留意願います。

研修医出向に関する申し合わせ

H17.2.18研修管理委員会

福井大学病院と研修協力病院・施設（以下「受入病院等」という。）は、卒後臨床研修（以下「研修」という。）を協力して実施することを目的として、福井大学病院の研修医の出向について次のとおり申し合わせる。

- 1 この申し合わせは、研修医が福井大学病院に在籍のまま、短期間（3ヶ月以内）受入病院等において研修に従事する場合に適用する。
- 2 福井大学病院は、出向する研修医の氏名と出向期間について受入病院等と事前に協議する。
- 3 研修医は福井大学病院に在籍のまま、受入病院等の指揮命令に基づき、受入病院等において実施される研修に従事する。
- 4 研修医は、受入病院等において実施される研修の遂行に当たっては、受入病院等の研修指導医の指導、監督、助言等に従うものとする。
- 5 受入病院等は、研修医の研修の実施状況及び研修の評価について、研修期間終了後速やかに、福井大学病院に報告する。
- 6 研修医の労働時間、休憩時間、休日及び休暇等の労働条件については、特に定めるものを除き、受入病院等の就業規則を適用する。ただし、出向者の年次有給休暇の付与日数については、福井大学病院の就業規則を適用する。
- 7 受入病院等は、研修上必要なときに、研修医に対して時間外勤務及び休日勤務を命ずることができる。この場合の時間外勤務と休日勤務の合計時間は月30時間を超えないものとする。
- 8 受入病院等は、研修医に対して指導体制を確保した上で、当直勤務を命ずることができる。この場合の宿直は月4回、日直は月1回を超えないものとする。
- 9 受入病院等は、原則として毎月2日までに、前月の出向者の勤務状況を「勤務状況報告書」（別紙）により、福井大学病院に報告する。
- 10 研修医の賃金については、福井大学病院の基準に従って、福井大学病院が研修医に直接支給する。
- 11 研修医の健康保険、厚生年金保険、雇用保険及び労災保険（以下「社会保険等」という。）は、福井大学病院における被保険者資格を継続する。社会保険等の事業主負担分の支払いについては、福井大学病院が行う。
- 12 出向者に係る日常発生する研修上の経費は、受入病院等が負担する。
- 13 研修医が、受入病院等において医療過誤を生じさせた場合は、受入病院等、福井大学病院及び研修医が誠実に協議し、法令の定めるところにより、その損害を賠償するものとする。
- 14 この申し合わせに定めのない事項が生じたときは、福井大学病院と受入病院等が誠実に協議し解決する。
- 15 この申し合わせは、平成17年2月18日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

研修医出勤記録

_____月 研修施設 _____ 研修医 _____

日	曜	出勤時刻	退出時刻	記 事（勤務内容など）
1 日		時 分	時 分	
2 日		時 分	時 分	
3 日		時 分	時 分	
4 日		時 分	時 分	
5 日		時 分	時 分	
6 日		時 分	時 分	
7 日		時 分	時 分	
8 日		時 分	時 分	
9 日		時 分	時 分	
1 0 日		時 分	時 分	
1 1 日		時 分	時 分	
1 2 日		時 分	時 分	
1 3 日		時 分	時 分	
1 4 日		時 分	時 分	
1 5 日		時 分	時 分	
1 6 日		時 分	時 分	
1 7 日		時 分	時 分	
1 8 日		時 分	時 分	
1 9 日		時 分	時 分	
2 0 日		時 分	時 分	
2 1 日		時 分	時 分	
2 2 日		時 分	時 分	
2 3 日		時 分	時 分	
2 4 日		時 分	時 分	
2 5 日		時 分	時 分	
2 6 日		時 分	時 分	
2 7 日		時 分	時 分	
2 8 日		時 分	時 分	
2 9 日		時 分	時 分	
3 0 日		時 分	時 分	
3 1 日		時 分	時 分	

上記のとおり勤務したことを確認しました。

平成 年 月 日

指導医等 _____ (印)

大学病院で初期研修を開始して半年たちますがいかがですか？
仕事にも慣れて、力がついてきているのを実感していることでしょう。
この時期に2年目の「地域保健研修」を選択しろと言われても
悩んでしまいますよね。



でも、考えてみてください。
将来、皆さんが医師として活躍するのはどんな病院でしょうか？
大学病院で働き続ける医師はほんの一握り。
市中の様々な大きさの病院で働く機会の方が多いのです。

ぜひ、体験してください。
地域に根ざした市中病院の役割と雰囲気。
病気の超初期の診断と治療の技術、
複数の病気・慢性期の患者さんとその家族の心も含めたケア、
病院からお家への橋渡し、在宅医療、
地域の人が困ったときにまず頭に浮かぶ「お医者さん」、
あなたのやりたいことが、ここにあるかもしれません。

大滝病院で研修しませんか？

◎何を研修できますか？

プライマリケア★ 病気やけが、心の悩みまであらゆる問題に対していつでも・総合的に・継続的に、ある時は予防的にも診療できるようになります。

慢性期の療養★ 外来でも病棟でも、またリハビリを通して、患者医師関係を良好に保ちながら、その人らしい療養を提供できるようになります。

外来診療★ 限られた時間内でスムーズな面接・診察・診断・説明ができるようになります。コミュニケーションスキルトレーニングを行うことができます。

在宅医療★ 住み慣れたお家での療養を他職種チームと連携を取りながらサポートできるようになります。在宅ならではの医療技術を身につけることができます。

保健・医療・福祉の連携★ 健診などの保健業務・介護などの福祉業務を理解し、それらのスタッフと連携しながら、病気の前から後まで時間軸的にも幅広い診療ができるようになります。

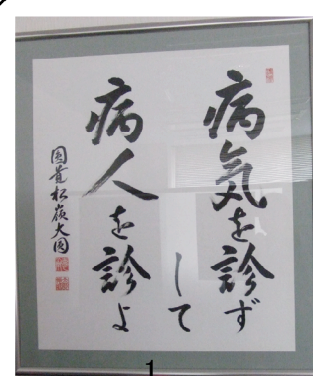
患者中心の医療★ 「病気」だけを見るのではなく、その人の「病い体験」に焦点を当てて患者さんを全人的に理解してケアの質を上げるような診療が身につきます。

生涯学習★ 医師として生涯学び続けるために、忙しくても効率よく学ぶ方法を身につけ、実践できるようになります。

◎研修期間は？

2ヶ月・3ヶ月の長期研修も
大歓迎、受け入れます！

福井大学総合診療部
「救急に強い家庭医養成コース」の
研修施設になっています。
継続して後期研修を行うなどの
相談にもなります



知っていますか？

臨床大講義室前に飾ってある
「病気を診ずして病人を診よ」
実は大滝病院理事長(前院長)が
大学に寄贈したものです。
同じものが大滝病院医局にも
飾ってあります。

大滝病院は 一生懸命、初期研修医を受け入れます！

【穂仁会大滝病院】

○指導医、そろえました！

研修医を受け入れ育てることも
地域病院の大切な仕事だと考えています

清水 信繁
ある時は地域診療所
またある時は
県立病院で先端医療
その正体は
外来在宅病棟
何でも来いの
スーパー総合内科医

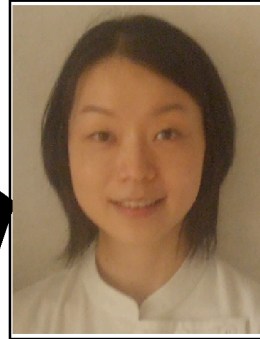


院長 **大滝 憲夫**

元 福井大学救急部講師
20年4月 院長就任後、初期研修受け入れ
体制を強化すべく指導医ゴレンジャーを
招集した

春木 麻衣子

春の木漏れ日の如し
温かな外来は
患者・家族を包み込み…
その雰囲気には
それを支える技術あり
家庭医療と行動科学の匠。
女性医師のキャリア
相談にもなります！



**指導医
ゴレンジャー**

北野 史浩

あの寺沢教授も一目置く!?
救急部のライオン丸
どんな難題も彼の知識と
本棚に答えあり
今でも大学救急部から
「こういう時はどうしたらいい?」
と問い合わせがあることも



紅谷 浩之

医師7年半のうち丸5年、
嶺南で地域医療を展開。
診療所で研修医・医学生を
受け入れ続けた
地域医学教育の先駆者にして
BeHappy探究者
そして大滝病院教育委員長

5人以外にも、グループ内21人の医師が各分野での指導を担当します

○単なる見学では終わらせません！

医学教育を学んでいる指導医が
日々の成長を実感させてくれます
「見とけ」「やっつけ」はありません



研修前

大滝病院での研修を選んでくれた場合、まず研修までにヒアリングを行います。
これまでの研修で何を身につけたか、何が足りないと感じているか、大滝病院で何をしたいか。
指導医が大学病院に出向いて、話をしながら、大滝病院での研修計画の下地を作ります。

研修中

研修のテーマに応じて個性豊かな指導医たちが様々なカンファレンスを準備します。
テレビカンファレンスシステムも導入予定です。
毎日、指導医らと振り返りや研修目標の見直しをするので、日々の成長を実感できます。
指導医は皆さんと年代的にも近いので、何でも相談しやすく楽しい雰囲気です！

○マニュアル化された研修ではなくオーダーメイドです！

患者さん中心に医療を行うのと同じように
研修の中心にはいつも研修者を位置づけます



将来は、地域医療をしたい！地域中核病院で活躍したい！救急をしたい！
専門科を究めたい！大学病院で研究もしたい！自分のペースで仕事をしたい！……
それぞれの目標と大滝病院のできることを照らし合わせながら、一人ひとりに合った研修を提供します。

パパママ
研修応援！

研修期間は併設の保育園を利用できます。病児保育もあります。
保育園の時間、保育参観、定期健診、急な病気…
お子さんの予定に対応してスケジュールを組み立て・変更することが可能です

研修内容についてなど、尋ねたいことがあればお気軽に！ → beniya99@mac.com (紅谷まで)

一理念一

患者様のため、まごころをこめて

良質の医療と保健・福祉のサービスを提供します。

病院から望む文殊山

「患者さま主体の医療」を実践していくための病院づくりに励んでいます。
 病気のことは患者様に教えてもらいます。治療のことは私たちが示します。

- 開 設 : 昭和58年4月1日
- 標 榜 科 目 : 内科、循環器科、外科、胃腸科、心臓血管外科、乳腺外科、精神科
 神経内科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科
- 専 門 医 療 : 循環器センター、消化器病センター、血管透析センター
 セ ン タ ー - ストレスケアセンター
- 専 門 外 来 : 肝臓外来、手術相談外来、睡眠外来、糖尿病外来
 女性のこころとからだの外来、思春期外来
- 看 護 形 態 : 一般病棟入院基本料 10対1 、 精神病棟入院基本料 15対1
- 病 床 数 : 一般病床 158床 (うち亜急性期病床 12床)、精神病床 50床
- 教 育 認 定 : 日本内科学会認定教育関連病院 循環器専門医研修関連施設
 日本消化器病学会認定施設 日本外科学会専門医制度修練施設
 日本消化器外科学会指定修練施設認定関連施設
 日本整形外科学会専門医研修施設 卒後臨床研修協力施設
 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設 マンモグラフィ健診施設
 日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士取得に関わる実地修練施設
 日本消化器内視鏡学会指導施設 (申請中)
- 専 門 医 : 日本内科学会専門医 日本消化器病学会専門医
 日本循環器学会専門医 日本超音波医学会認定超音波専門医
 日本消化器内視鏡学会専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医
 日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳腺専門医
 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本整形外科学会専門医
 日本リウマチ学会専門医 日本総合病院精神医学会専門医
 日本医学放射線学会専門医
- 指 導 医 ・ 他 : 日本内科学会指導医 日本消化器病学会指導医
 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器内視鏡学会学術評議員
 日本消化器外科学会指導医 日本内視鏡外科学会技術認定
 日本外科学会指導医 福井県臨床研修指導医
 日本蘇生法指導医 日本糖尿病協会療法指導医
 日本静脈経腸栄養学会指導医 日本睡眠学会睡眠医療認定医
 日本総合病院精神医学会指導医 精神保健判定医 精神保健指定医
 心とからだの健康づくり指導医 日本医師会認定健康スポーツ医
 日本整形外科学会リウマチ医 日本整形外科学会スポーツ医
 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本核医学会認定医
 日本核医学会PET核医学認定医 日本産科婦人科学会認定医
 介護ケアコントロールセンター 人間ドック認定指定医
- 関 連 施 設 : 健診センター、総合福祉医療サービスセンター

研修

循環器センター研修募集中(初期・後期)

【指導医】 循環器専門医 加藤浩司

当院ではアブレーションによる不整脈治療と心血管のインターベション（PCI）に力を入れております。特にCARTO system = 3D electro-anatomical mappingを使用したアブレーションは心房細動を始め、現在県内トップの実績を上げています。県内ではアブレーション症例の約半数が当院で施行されており、2007年のアブレーション件数は77件で2位以下の病院を大きく引き離しています。

見て覚えるだけではありません

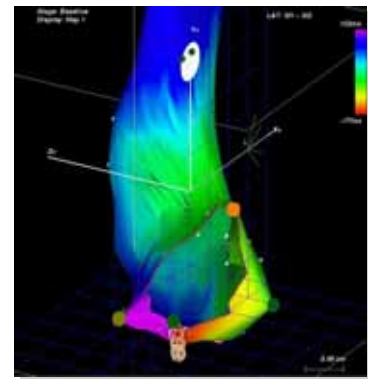
初期研修中の方にも、週に数例は心臓カテーテル関連の検査に入ってもらい、段階的に慣れてもらうようにしています。

心エコー中心のカンファレンス

心エコーを中心とした基本的な心臓の血行動態、正常解剖、病的所見の把握について、毎朝カンファレンスを実施します。3D-CTによる冠動脈も参考に心カテPCIへと繋げています。

内科の基盤を大事にしています

当院の循環器科は超専門的な特化とレベルアップを目指しておりますが、同時に内科としての基盤も大事にしています。内科と合同の入退院報告、抄読会、オンライン画像カンファレンス、症例検討会を実施しており、内科全般にかかわりつつ、循環器の専門的な知識・技術の習得ができる環境といえます。



CARTO



冠動脈3D-CT

消化器病センター研修募集中(初期・後期)

【指導医】 外科指導医、消化器病・消化器内視鏡指導医 長谷川保弘

消化器病センターは、消化器内科・肝臓内科・消化器外科が各科の垣根を越えて、患者病状に応じて最善の治療を提供することを理念としております。

消化器系疾患検査・内視鏡治療

当センターの検査では、上部消化管内視鏡GIF（経口・経鼻）、十二指腸内視鏡ERCP、下部消化管内視鏡TCF、超音波内視鏡EUS、腹部血管造影などを行っています。内視鏡治療については内視鏡的粘膜切除術EMRはもとより、粘膜に留まる病変に関しては積極的に内視鏡的治療ESD（内視鏡的粘膜下層切開・剥離術）を行っています。また肝疾患には肝生検を行い、インターフェロンINF治療や肝動脈塞栓術TAE等を、胆道疾患には内視鏡的乳頭括約筋切開術ESTや内視鏡的逆行性胆道ドレナージ術ERBD、胆道ステント治療も施行しています。

消化器外科手術

放射線科専門医や消化器内科医とカンファレンスを毎週行い、病期に応じた的確な手術治療が行えるようにしています。腹腔鏡治療は県内でも先駆的施設でありましたが、最近では切除不能な肝臓癌症例にもRFA（ラジオ波焼却療法）を開始し低侵襲の治療を行っています。OP件数に関して2006年度は186件でしたが2007年は252件と1.35倍に増加しました。各主治医が執刀できる体制が確立され、手術件数の増加に伴って各種合併症も減少し、クリニカルパスに基づき的確な手術を行っています。



NBIシステム



手術風景

Welcome to National Hospital Organization Awara Hospital

独立行政法人

 国立病院機構あわら病院

当院は専門性の高い良質な医療サービスを提供することを使命に掲げ、「障害児（者）医療、血液・免疫医療、長寿医療」を中心に診療を展開しています。また、全国の国立高度専門医療センター及び国立病院の臨床研究ネットワークへの参加し、常により良い医療を追求しております。



病院データ

- 開設者名 : 独立行政法人国立病院機構 理事長 矢崎 義雄
- 病院長名 : 津谷 寛
- 住所 : 〒910-4272 福井県あわら市北潟 238-1
- 電話 : 0776-79-1211 FAX 0776-79-1249
- URL : <http://www.hosp.go.jp/~awara/>

病院の基本理念・運営方針など

～多くの人の笑顔のために～

- 障害児（者）、血液・免疫、長寿をはじめ、地域に求められる医療を提供します。
- 患者さまの目線に立ち、すべての患者様に懇切丁寧な医療を実施します。
- 医療技術・安全管理の研究・研修につとめ、より質の高い医療を追求します。
- 国立病院としての公共性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。

病院の特色・診療の特徴など

■診療科・医師数

内科	: 5
呼吸器科	: 1
循環器科	: 1 (非常勤)
小児科	: 2
外科	: 1
整形外科	: 2 (非常勤)
皮膚科	: 1 (非常勤)
眼科	: 1 (非常勤)
放射線科	: 1 (非常勤)

■病床数

一般 : 60, 重心 : 80, 療養 : 40 計 180

■診療の特徴

当院は主に内科全般、小児科、外科を対象とした一般診療体制をとっておりますが、次の分野については専門性を発揮した医療を展開しています。

重症心身障害児（者）:

病棟 80 床及び通園施設を有し、発達障害やてんかんなど小児神経疾患を中心に診療を行っており、非言語コミュニケーション・摂食訓練などのリハビリテーションの充実や、短期入所など在宅支援事業の拡充を進めています。

血液・免疫疾患:

簡易無菌室 2 室及び細胞処理室を備え、血液悪性腫瘍、とくに難治性・再発性疾患を主体に造血幹細胞移植術等を併用した化学療法を積極的に実施しています。また、関節リウマチに対し、インフリキシマブやレフルノミドなど新しい抗リウマチ剤の使用を含めた集学的医療を実施しているほか、全身性エリテマトーデスなどの膠原病や、痛風など関節炎疾患の診療を行っています。

長寿医療:

肺炎・血管障害など高齢者に多発する疾患の急性期医療、国立病院機構で唯一の高齢者療養病棟を活用した慢性期医療、そして訪問診療など在宅支援事業を一体として運営しながら、行政・医療・福祉機関と密接な関係を保ち地域の理想的な長寿医療体制の形成に力を注いでいます。

■救急医療の実績

救急医療を実施する診療科 : 内科、外科
患者数（救急外） : 1384 件（平成 19 年 1 月～12 月）
患者数（救急搬送患者数） : 32 件（平成 19 年 1 月～12 月）

教育体制

- 研修担当責任者、役職 : 津谷 寛 （院長・内科）
- 図書室 : 有り
- インターネット利用環境 : 各部署で利用可能
- 学会、研修会への参加費用支給 : 有り

研修医募集人数

初期研修 : 募集しておりません。
後期研修 : 血液・リウマチ内科コース 1 名、長寿・障害者医療コース 1 名（全体で 3 名）
医員（常勤）待遇での採用となります。

処遇

- 給与 : 516,000 円/月（基本給、地域手当、医師手当の合計額）
※ 平成 19 年 4 月に医師免許を取得された場合の基本的支給部分の金額です。
その他通勤、住居、宿日直手当等の各種手当が有ります。
- 社会保険等 : 医療保険・年金保険 … 共済保険・共済年金に加入して頂きます。
災害補償 … 国家公務員災害補償法が適用されます。
- 有給休暇 : 有り
- 医師賠償責任保険 : 任意
- 宿舎 : 有り
- 研修終了後の進路等 : 国立病院機構各病院スタッフとして推薦可能

詳細のお問い合わせ・お申し込み

- 照会先 : 事務部企画課庶務係 担当者 野村 祐司
電話 0776-79-1211 内線 246

研修責任者（指導医）・研修医からひとこと

- ひとこと : 研修責任者 院長 津谷 寛
当病院は閑静な環境の中にあります。自然と親しみながら、研修に励んでいただきたい。



Fukui Social Insurance Hospital 福井社会保険病院

〒911-8558

福井県勝山市長山町2丁目6番21号

E-mail fsih-30@crocus/ocn.ne.jp

U RL <http://www.fsih.jp/>



福井社会保険病院の特色

1. 福井県の東北部に位置し、東南は大野市、南西は吉田郡に、北は石川県に隣接し、福井大学医学部附属病院から30分、福井県立病院まで40分のところある。また、周囲は大小の山々に囲まれ、その中心を県下最大の九頭竜川が流れ、自然に恵まれた静かな環境の地域である。
2. 福井県の奥越圏域(人口約6万5千人)で唯一の公的総合病院である。
3. 災害拠点病院・地域リハビリテーション広域支援センター・第2種感染症指定医療機関・二次救急指定病院(輪番制)・年間を通じ消防署の救急車の搬送率70%以上・地域の病院や福祉施設との診療契約3施設・原子力発電所の労働災害時の診療契約病院・指定養育医療機関・脳卒中登録指定医療機関・地域で唯一産婦人科、皮膚科(形成外科)、泌尿器科、脳神経外科等がある病院・地域で唯一生活習慣病健診が総合的に実施できる病院。
4. 病院事業(199床・14科)を中心に介護老人保健施設(100床)・訪問看護ステーション・健康管理センター・リハビリテーションセンター等を併設し、医療・保健・福祉を結合させた総合医療施設としての役割を果たしつつ、地域にとって不可欠な施設として信頼と期待が寄せられている。



▼勝山市風景



研修内容

■～小児科研修を希望する医師の方へ～■

希望に合わせて研修計画を立てていきます。

地域に根付いた一般的な診療と同時にネフローゼ症候群や糖尿病、内分泌異常、新生児疾患など小児科特有疾患の診療も行っています。

専門医にコンサルトする見極めなど現実的な対応にも即しています。

大病院で多数の医師と共に診療する経験とは異なる、自分で考えて決断する decision making を培っていきましょう。

■～脳外科研修を希望する医師の方へ～■

救急医療の一翼を担う脳外科の代表的疾患である脳卒中（脳動脈瘤、脳出血、脳梗塞等）と頭部外傷を中心に時間の許す限り man to man で指導します。救急患者の診察、処置、検査、画像診断、手術等臨床に即した知識の修得を目指します。また、多数の代表的な症例のCT、MRI、ビデオを供覧し、即戦力になる知識を養います。帰学時には脳外科医になった気分請け合いです。昼食は当科で準備しておりますのでご安心下さい。

■～地域保健・医療研修を希望する医師の方へ～■

高齢化社会が進む現代、奥越内の総合病院として最先端の医療のみでなく地域に根付いた医療の一貫として訪問診療を行っています。

また、予防医学として健康診断を行っており、最近外来ではあまり行われなくなった胃透視のフィルム読影の訓練は十分に行なえます。

専門性を求めるだけでなく全般的に広く知識を必要とされ、今後、専門分野に進む前の勉強として研修されるとよいと思います。



【外来診療表】

受付時間：月曜日～金曜日 午前8:30～11:30 午後1:00～3:00
休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

診療科		月	火	水	木	金
内循環器科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
整形外科	午前	○	○	○	○	○
	午後					
小児科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
産婦人科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
形成外科	午前		○			○
	午後		○			○
泌尿器科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
眼科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○			○	○
脳神経外科	午前	○	○	○	○	○
	午後		○		○	○
皮膚科	午前	○	○	○	○	○
	午後		○		○	○
麻酔科	午前	○		○	○	○
	午後					
放射線科	午前					
	午後					



—理念—

わたしたちはあなたとともに
 納得して受けられる医療
 安心して受けられる医療
 をめざします



* 林病院の紹介 *

当院は、越前市の中心部にあり、越前市役所やJR武生駅近くに位置している。丹南地域における急性期医療の一端を担う病院として地域の方々の健康を守るため、救急医療や地域医療に力を注ぎ、医療圏内での救急車搬送患者の約4割を受け入れ、年間約1,000例の手術を施行している。地域の医師会・各医師との連携を通じた地域医療支援にも取り組んでいる。また、回復期リハビリテーション病棟を有し、在宅生活復帰に向けたリハビリテーションを積極的に行っている。人工透析は、昭和47年より取り組み、丹南地域では最も長い歴史をもっており、現在21床を有している。この他、人間ドック・健康診断などの予防医療や自立にむけた生活を支援する在宅サービスを行っている。

平成18年4月には、病院機能評価認定を受けており、今後とも「納得して受けられる医療・安心して受けられる医療」を提供できるよう、医療の質の向上に努めている。大学及び各学会の認定施設・認定関連施設の承認を受け、医師の生涯教育の実施施設として、また武生看護専門学校の教育実習病院として医療人教育にも力を入れている。

病院長	野尻 正憲
住 所	〒915-8511 福井県越前市府中1丁目5番7号
電話番号	0778-22-0336 (代表)
fax 番号	0778-23-4014 (代表)
e-mail	hp-hayasi@ma.interbroad.or.jp
URL	http://www2.interbroad.or.jp/hayasi/

病院概要

開設	大正2年11月
標榜診療科	内科・消化器科・呼吸器科・循環器科・リウマチ科 泌尿器科・外科・整形外科・脳神経外科・形成外科 心臓血管外科・呼吸器外科・眼科・放射線科 リハビリテーション科 他に人工透析室 特殊外来…血液内科 腎臓内科 リウマチ膠原病
病床数	216床（うち亜急性期病床20床・回復期リハビリテーション病棟50床）
看護形態	一般病棟入院基本料 10対1
医師・看護師数	常勤医16名 看護師135名（平成20年8月現在）
関連施設	居宅事業部 *居宅かいごしえん府中 *訪問看護ステーション府中 *訪問介護ステーション府中 リハビリテーションセンター

主な医療設備

手術室4室	<table border="1"> <tr> <td>空気清浄度</td> <td>クラス500</td> <td>1室</td> </tr> <tr> <td>空気清浄度</td> <td>クラス1000</td> <td>1室</td> </tr> <tr> <td>空気清浄度</td> <td>クラス10000</td> <td>2室</td> </tr> </table>	空気清浄度	クラス500	1室	空気清浄度	クラス1000	1室	空気清浄度	クラス10000	2室
空気清浄度	クラス500	1室								
空気清浄度	クラス1000	1室								
空気清浄度	クラス10000	2室								

胸腹腔内視鏡下手術装置・関節鏡下手術装置・手術用顕微鏡3基

ベッセルシーリングシステム・超音波白内障手術装置・術中自己血回収器

外科用X線装置

CT・・・Bright Speed Elite GE製（平成18年入替）

MRI・・・MAGNETOM Avanto シーメンス製（平成17年入替）

電子内視鏡一式 オリンパス製

日本医療機能評価機構認定Ver. 4 2006年4月24日

地域医療研修施設

財団医療法人 中村病院

理事長 中村康孝

〒915-0068 福井県越前市天王町 4 番 28 号

TEL0778-22-0618 <http://www.nakamura-hp.or.jp/>

当院は、急性期医療を目指しながら、生活習慣病健診等も実施し、CTやMRI等の電子化を開始し、高度の治療技術で地域と有機的な連携を求めていきたいと考えています。

外科では、専門医により各種の癌などに内視鏡下による手術等が実施でき、結石破砕装置等の設備も有し、マンモグラフィー等で乳癌等の精密検査も実施できます。脳神経外科では、専門医により脳出血等の治療、手術が実施でき、高気圧酸素治療機器も備えています。整形外科では、専門医により人工関節置換術等が実施でき、リハビリテーションの施設基準に適合しています。内科では、ペースメーカー移植術、大動脈バルーンパンピング法、経皮的冠動脈形成術等が実施でき、人工透析等の設備も有します。

以上のように各科優れた診療機能・設備等を備え、将来、総合的な医療を目指す皆様には、より良い研修施設としてお勧めします。

臨床研修指導医

中村康孝：日本外科学会専門医 野口善之：日本脳神経外科学会専門医

永田美和子：日本神経学会専門医

施設の概要

一般病棟 10 対 1 入院基本料、1 日平均入院患者数：138 人、平均在院日数：21 日

1 日平均外来患者数：369 人、医師数：21 名、看護師、准看護師数：113 名

標榜診療科

内科、神経科（神経内科）、呼吸器科、消化器科（胃腸科）、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科

機器設備等

X線TV装置、血管造影X線診断装置、マルチスライスCT、MRI、結石破砕装置、高気圧酸素治療装置、心臓カテーテル検査装置、超音波診断装置、透析装置、内視鏡装置、集中治療室、手術室：3室

医療法人池慶会 池端病院

病院概要

当法人は、昭和34年に池端医院として開業し、昭和49年には30床の池端病院として越前市の郊外、国道365号線沿いに開設した王子保地区(人口6,500人)唯一の診療施設です。

小さな病院ですが、幅広い患者層が特徴です。乳幼児から学童、超高齢者、救急・外傷、消化器外科から生活習慣病、高齢者慢性疾患までカバーしています。

また、その治療は外科手術、内科的治療、看護、介護、リハビリテーションを外来、入院、通所、訪問で対応しています。

私たちは、信頼され愛される病院を目指します！

スタッフ

医師:院長をはじめ、2名の常勤医師と4名の非常勤医師が、入院・外来・訪問の各診療に携わります。

看護師:21名

介護士:26名

療法士:PT2 OT4 ST2名

栄養士:8名

ケアマネ:専任5名(有資格者18名)

事務員:8名



院内では多岐にわたる部署、サービス事業所を抱えているために、連携強化の目的で各部会、委員会を定期的に行っています。

私たちは、常に考え学び向上心を持ち続ける病院を目指します！

当院では、次のような研修が体験できます。

入院・外来診療
在宅医療(訪問、往診)
終末期医療
癌の化学療法
地域ケア全般
その他

病院内 各部会・各種委員会

部会

経営管理会議 運営会議
看護介護部会 診療部会 地域ケア部会
ミドルマネジメント部会

委員会

教育研修委員会 リスクマネジメント委員会
生活習慣病委員会 広報委員会 NST委員会
個人情報保護委員会 身体拘束ゼロ委員会

私たちは、地域に根ざした「かかりつけ病院」を目指します！

医療

当法人は、常に地域のニーズ、時代のニーズに対応する包括的医療を考えたサービス提供を目指しています。健康日本21構想を基に、糖尿病、メタボリックシンドローム、禁煙、アンチエイジング、認知症などを対象とし予防から治療とフォローアップを実施します。今年度は、特定健診、特定保健指導にも力を注いでいきます。

主な提携医療機関
越前市内各病院(中村病院 林病院ほか)
福井赤十字病院 福井済生会病院 福井県立病院 公立丹南病院
福井大学医学部付属病院

介護

複雑多様化する介護ニーズが高まる中で、高齢者一人ひとりに対応した介護計画(ケアプラン)に基づいたサービス提供を目指しています。出来る限り自宅での生活が続けられるよう、訪問系、通所系の各種介護保険事業を展開しています。

診療時間

	月	火	水	木	金	土
8:45~12:30	◎	◎	◎	◎	◎	○
15:00~17:30	○	○	○	○	○	
17:30~18:30	◎	○	◎	○	○	
訪問診療	午前	午前		午前	午前	

関連機関

高齢者の医療と介護を担う
「総合在宅ケアセンター しくら」

- ・しくらケアプランステーション
- ・しくら在宅介護支援センター しくら地域包括サブセンター
- ・しくら訪問看護ステーション
- ・池端病院訪問リハビリテーションセンター
- ・しくらホームヘルパーステーション
- ・デイケアしくら(通所リハビリ)
- ・しくらデイ明日花(通所介護)
- ・しくらデイひなたの家(認知症対応型通所介護)

「多職種協働」によるチームアプローチをモットーに、医療・介護を一体的に提供する地域ケア主体の病院です。

医療法人池慶会 池端病院

理事長・院長 池端幸彦

〒915-0861 越前市今宿町8-1

TEL 0778(23)0150 Fax 0778(24)2363

HP <http://www.ikebata.jp> E-Mail info@ikebata.jp



越前町国民健康保険織田病院の紹介

越前町は、福井県嶺北地方の西端に位置し、人口約24000人、農業と漁業、観光(水仙、カニ、越前焼き)の町です。

織田病院は、越前町の織田地区にあり、丹生郡唯一の公的病院・救急告示病院として、救急患者の常時受入体制の整備、CTスキャン、MRIなどの高度医療機器の導入、手術室、検査室等の整備、医療スタッフの充実等に力を注ぎ、地域住民の信頼感、安心感を獲得してきました。

主な診療圏域は、織田地区・宮崎地区(中山間地)と越前地区(海岸部)で変化に富んだ広い圏域をカバーしています。

また、織田病院のある織田地区は、戦国武将「織田信長」ゆかりの地で、1800年の歴史を誇る越前二の宮「劔神社」や、OTAIKO響など太鼓のまちおこし、美味しい豆腐などが有名です。



所在地等

〒916-0215 福井県丹生郡越前町織田106-44-1

開設者 越前町長 関 敬 信
院 長 島 田 政 則

TEL: 0778-36-1000

FAX: 0778-36-1001

URL: <http://www.ota-hosp.jp>

診療時間

一般外来受付 【午前】8時00分～11時30分 (水・土曜日は午前のみ)
【午後】午後2時30分～4時30分まで

救急外来受付 24時間

医療スタッフ

医師 5人(非常勤医師12人)

看護師 38人 薬剤師 2人 放射線技師 2人 理学療法士 3人 作業療法士 2人
言語聴覚士 2人 臨床検査技師 2人 管理栄養士 1人 看護補助職員 6人

事業内容

許可病床数

一般病床 55床

診療科

内科・外科・整形外科・呼吸器科・消化器科・眼科・肛門科
リハビリテーション科・放射線科・循環器科・神経内科・脳神経外科
小児科

業務内容

入院、外来、訪問診療・往診

予防接種、乳幼児健診、各種健康教室、学校医、産業医活動、介護保険主治医意見書作成

特別養護老人ホーム嘱託医

健康相談、育児相談、各種学生実習

患者数

入院:16,010人 (1日平均 43.7人)

外来:46,847人 (1日平均 161.0人)

地域の中核的な医療機関として、病診・病病連携の推進、ならびに併設されている越前町織田保健福祉センターと一体となった「保健・医療・福祉」の融合による、地域包括医療の構築に取り組んでいます。



初期研修(地域保健部門)選択のための診療所紹介

高浜町和田診療所で何が研修できるか!?

→ 「地域医療の現場」、「家庭医療の実践」を体感することができます!

○地域の診療所は何をしているところ?

地域の診療所は単に病院の外来部門を切り離れたようなことをやっているわけではありません。その人に、家族に、地域に、社会に密着して赤ちゃんからお年寄りまでその人それぞれの健康問題にいろんな角度からアプローチして、心身共に健康で(たとえ病気を持っていても)明るく楽しく生きていくことのお手伝いをしています。それを体験して下さい!

○診療所研修の期間はずっと診療所で研修するの?

いいえ違います。診療所の業務の中にも「在宅医療(訪問診療・往診)」や「無医地区巡回診療」があって地域を回ります。それに留まらず、高浜町内の連携施設で研修する時間も設定してあります。保健センター、訪問看護ステーション、社会福祉協議会、デイサービスセンター、特別養護老人ホーム、調剤薬局、消防署などなど。研修の期間や希望に応じてスケジュールを組みます。

健康問題を解決するのに医療だけではどうにもならないことは多いのです。保健・福祉部門のスタッフがどんな仕事を担当しているか理解し、医師としてそのシステムの中で何ができるかを考えることができるようになります。



血圧の薬をもらいに通院している患者さんが、今日は頭痛も訴えています。

よ〜く話を聞いてみると、お姑さんの介護疲れに子どもの進学問題が重なってだいたい疲れれているようです。この方に血圧と頭痛の薬を出せば元気になるでしょうか?こんな方の悩みや苦痛を取り除く方法を診療所では用意しています。これまでの病院で研修してきた知識と合わせれば鬼に金棒!患者さんを全人的に理解して治療する方法を見つけられます!



研修しやすい診療所をめざします!

- テレビ会議システムで福井大病院 救急・総合診療部の勉強会に参加できます!
- 指導担当医は平成13年福井医大卒・福井県立病院スーパーローテート修了・福井大総合診療部出身です。年齢・経歴とも皆さんに近く、何でも相談しやすい雰囲気大切にしています! 家庭医療学会認定「救急に強い家庭医養成コース」指導医です!
- 看護師や他施設スタッフも研修への理解があり、アットホームな雰囲気楽しく研修できます!
- 研修医用の宿舎があります!
- 毎日の振り返り・研修計画の見直しをしっかりと行うことで、せっかくの「研修」を単なる「体験」に終わらせません!

ディスカッション ★「家庭医療」って? 専門分野なの? ★

縦割りの臓器別診療と見比べると「専門分野ではない」ように受け取られることもありますが...

健康問題や病気の約8割を占める「日常よく遭遇する状態」を適切にケアすることができ、各科専門医やケアに関わる人々と連携し、患者の気持ち・家族の事情・地域の特性を考慮した、エビデンスに基づく「患者中心の医療」を実践できる「専門医」が「家庭医」です! 「プライマリ・ケア」「救急・災害医療」「家族志向ケア」「予防医学」「行動科学」「NBM」「地域包括ケア」「ウィメンズヘルス」など学ぶべき分野は多岐にわたり、一生をかけて極めていくにふさわしい専門分野です!

全国的に女性医師も活躍している分野です!



高浜町和田診療所の紹介

高浜町は福井県最西端、おとなりは京都府舞鶴市 ことばは関西に近い
人口12000人、漁業と農業、観光（海水浴・カニブグ）の町です
原子力発電所があります
その高浜町の和田地区に和田診療所はあります
和田地区は人口およそ3000人で、
とてもきれいな遠浅の和田海水浴場がウリです

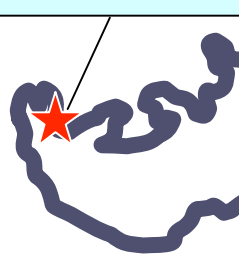
和田診療所は平成16年4月に新設された
町営の新しい診療所です

医師3～5名（研修医含む）、
看護師3名、保健師1名
事務 2名で
日々の診療を行っています

地域診療所ならではの
保健・医療・福祉の連携や
在宅医療に力を入れて
ひとりひとりに合わせた
医療を提供しようとしています



和田診療所



数値などは平成19年夏 現在

福井県立病院

福井大学医学部



夏だ!海と地域医療体験ツアーin 高浜:海浜救護所ボランティア ↑
←診療所スタッフ

●診療所業務内容

- 医療)** 外来、訪問診療・往診（在宅医療、緩和医療）、無医地区巡回診療
- 保健)** 予防接種、乳幼児健診、各種健康教室、学校医・保育所医活動、産業医活動
- 福祉)** 介護保険主治医意見書作成、特別養護老人ホーム嘱託医活動（回診など）
- 相談)** 健康相談、育児相談、介護相談 **教育)** 学生実習・研修医の受け入れ



●学生・研修医受入実績

医学生 60名(1日～2週間)
初期研修医 9名(1週間～4ヶ月)
後期研修医(地域・家庭医療専門コース)6名(3ヶ月～1年)

初期研修評価表(例)→

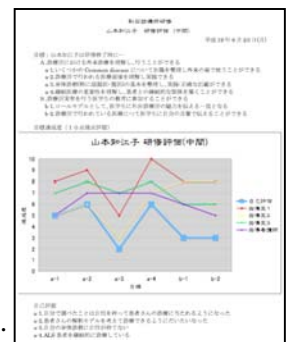
→初期研修目標例

- ・ Common disease について知識を整理し、外来の場で使えるようになる
- ・ 診療所で行われる医療面接(患者中心の医療の技法を用いた)を理解し、実践できるようになる
- ・ 継続医療の重要性を理解し、患者との継続的な関係を築くことができるようになる

→初期研修感想より

- ・ 「病気」そのものだけでなく、それを持った患者さんの苦しみに対する重要さを知った。
- ・ 医学的に正しいことと、目の前の患者さんにとってふさわしいこととは違うことに気づいた。
- ・ 面接の技術を高めていくと検査を減らせるだけでなく、面接だけで治療になることがわかった。
- ・ 熱意ある雰囲気の中で楽しみながら刺激的な毎日を過ごすことができた!

研修の目標設定やスケジュールは、研修医の希望や将来の目標を重視して相談しながら決めていきます。
専門医を目指している研修医でも、地域の現場で研修することは必ずよい経験になります。



SOCIAL INSURANCE TAKAHAMA HOSPITAL



社会保険 高浜病院

所在地 〒919-2293
 福井県大飯郡高浜町宮崎 87-14-2
 TEL 0770-72-0880
 FAX 0770-72-1240
 URL <http://www.takahamahp.com>
 管理者 院長 三浦正博

特色

社会保険高浜病院は、福井県の最西端に位置する高浜町にあります。高齢化の進む高浜町において、入院診療から在宅診療まで一貫した診療体制の提供、一次二次救急医療への対応、また、原子力発電所立地町である特色を生かした健診への充実した取組みなど地域に根ざした「地域密着型」が当院の特色となっております。

施設の概況

①標榜科

内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、麻酔科

②許可病床数

一般病床 40床 療養病床 75床



高浜病院

関連施設

- ☆ 社会保険高浜病院健康管理センター
- ☆ 高浜社会保険介護老人保健施設（サンビュー高浜）
- ☆ 高浜社会保険訪問看護ステーション（サンハート）

研修協力施設

高浜町、高浜町和田診療所

研修内容

研修は「医療、保健、介護」を総合的に行います。

医療・・・入院医療はもちろんのこと、外来・在宅診療においては町内の診療所と連携しつつ行います。特に在宅医療については、訪問看護ステーション等も利用し総合的に行います。

保健・・・高浜町保健福祉センターと連携を取りながら、生活習慣病予防健診、住民健診、職業病健診等の健診業務、産業医、予防接種、学校医等を実施していきます。

介護・・・併設老健施設をはじめ町内の介護保健施設、ケアマネージャーと連携しながら町民の介護の向上に寄与していきます。

教育体制

- ※ 教育担当責任者 院長 三浦正博
- ※ インターネット利用環境 医局、病棟詰所、外来診療室にて使用可
- ※ 学会、研修会への参加費用 支給可

その他

- ☆ 宿舎 単身用・家族用共に有
- ☆ 医師賠償責任保険 病院にて加入します。



併設介護老人保健施設（サンビュー高浜）



藤田神経内科病院 ディーパあかね



当施設は福井大学附属病院から西約 3.5km にあります。基幹病院は脳卒中やパーキンソン病、認知症などの神経疾患とリハビリテーションの専門病院です。一方、老健施設やグループホーム、訪問看護に取り組み地域の福祉・医療・保健の一翼を担っています。

現在、研修機関として環境保健学実習や看護実習、介護福祉実習を受け入れ、日本神経学会の教育関連病院にもなっています。

〈モットー〉

- 親切心 (Compassion)
好意的かつ品位をもってニーズに応える。
- プロ意識 (Professionalism)
部門を超えたチームワークにより質を向上する。
- 地域 (Regionalization)
地域内での連携を図り、革新的な施設を目指す。

【施設概要】

理事長	藤田 長久 (神経内科)
研修指導医	酒井 哲夫 (総合診療科)
	西坊 直恭 (一般内科)
	廣岡 昌人 (一般内科)



トイレ付きベット

・藤田神経内科病院

病床数： 40床 (一般病)、4床 (亜急性)

診療科目： 神経内科、内科一般、リハビリ科

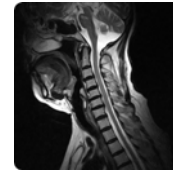
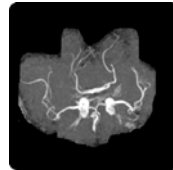
在宅医療； 訪問看護・リハビリ、デイケア、グループホーム

禁煙教室、脳卒中友の会、早朝リハビリ、NST

ネット上； 医療相談 (カドボニオ)、

設 備： C T、M R I、脳波、神経伝導検査、筋電図、超短波、内視鏡

外 来： 神経内科、呼吸器、循環器、血液、糖尿病



M R I

・介護老人保健施設 ディーパあかね

定 員： 2階50床、3階36床（認知症対応）

デイケア（通所リハビリ）： 定員60名

主な活動： 生活リハビリ、栄養マネージメント

口腔ケア、動物介在療法、療育音楽

回想法、退所前後訪問指導

・グループホームあかねの里（軽度認知症対応、定員18名）

・あかねケアマネージメントセンター

・あかねヘルパーステーション

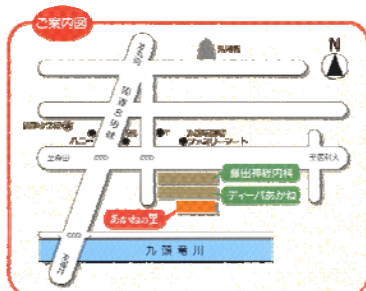


【研修概要】

- ・計画は、研修医の希望に沿いながら相談します。
- ・指導は、医師や薬剤師、看護師、リハビリ士など全面的に協力します。
- ・内容は、地域福祉・一般医療のみならず神経内科専門分野を含みます。

【研修にあたり】

- ▼ 侵襲を与える検査や処置は指導医のもとで行う。
- ▼ 毎日の「研修日誌」を記す。
- ▼ 週一回の「症例発表」を行う。



医療法人社団 菫会

藤田神経内科病院+ディーパあかね

福井県坂井市丸岡町羽崎 31-12-1

TEL 0776-67-1120（中村崇人）

Eメール iryohoujin@akanekai.jp

福井健康福祉センター紹介

保健所は、地域保健・医療の研修施設の一つとしてあげられています。

あれ？

◎ 「健康福祉センター」って？「保健所」ではないの？

昭和19年10月、「旧保健所法」に基づき福井市毛矢町に「福井保健所」が発足しました。平成5年10月から現在の場所に移転しています。平成12年4月、「福井保健所」と「高志福祉事務所」が組織統合を行い誕生したのが「福井健康福祉センター」です。（「保健所」については、地域保健法上必置義務があり、現在は、福井健康福祉センターと福井保健所の「二枚看板」で仕事をしています。）

◎ 「健康福祉センター」は、どんな仕事をしていると思いますか？

そういえば・・・。「医師免許申請」にドキドキしながら「健康福祉センター」に行ったことを思い出されるのではないのでしょうか。

◎ 仕事を説明する前に「福井健康福祉センター」管内の概要について説明します。（位置は、😊印です。）

「福井健康福祉センター」管内は、福井市および永平寺町の1市1町からなります。

管内は福井大学医学部附属病院、福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院等の医療施設に恵まれた環境となっています。

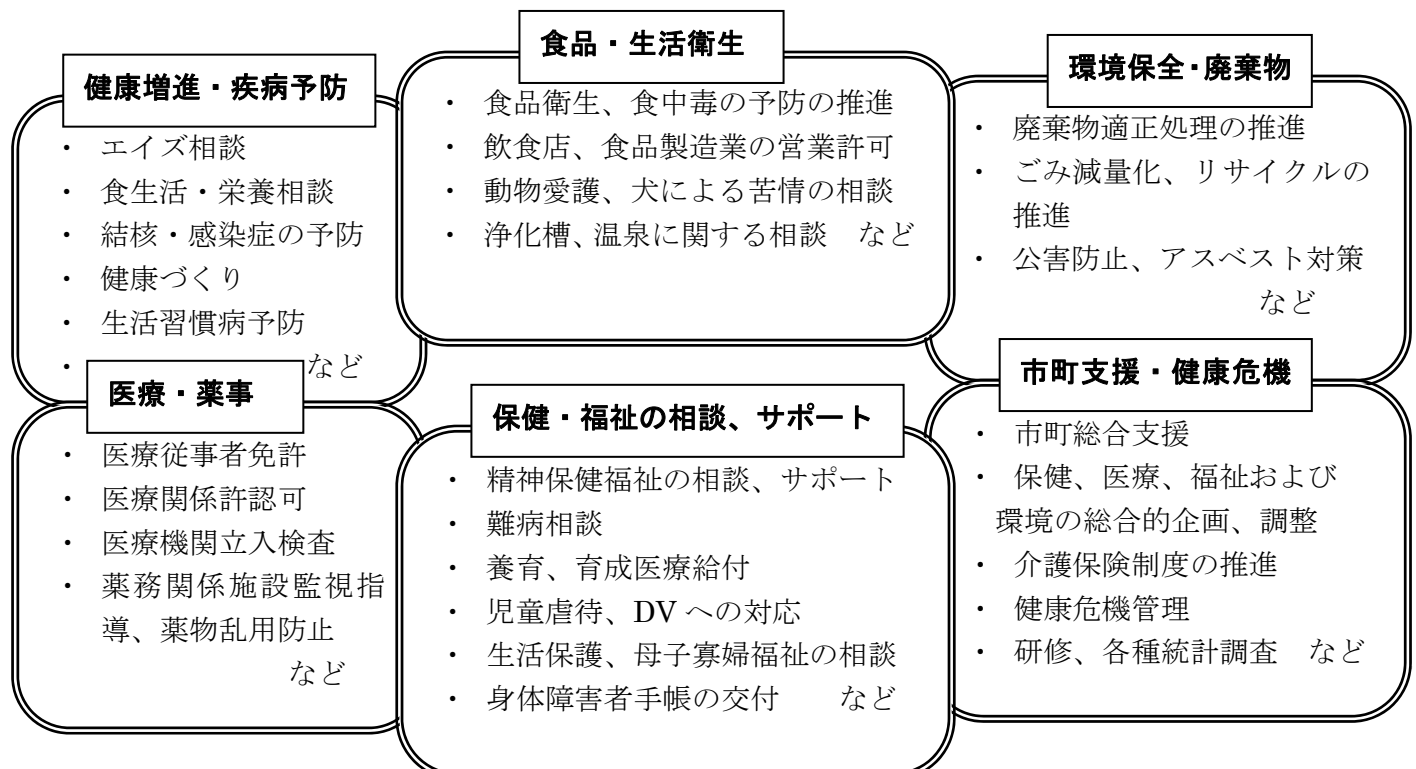


管内人口：289,074人
（平成19年10月1日現在「福井県の推計人口」）
福井県で一番！

◎ 「福井健康福祉センター」での主な仕事は・・・。

まず、「福井健康福祉センター」には、「医師」をはじめ、「獣医師」「薬剤師」「保健師」「栄養士」「診療放射線技師」「臨床検査技師」「化学」「福祉」等の職種が配置され、県民の日常生活に関わりの深い保健、医療、福祉、環境に関する総合的なサービスを提供しています。

主な仕事として下記のとおりです。



◎ 「福井健康福祉センター」では、どんな研修が受けられるのでしょうか。

医師法第1条に、医師の任務は「医師は医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。」と書かれています。

福井健康福祉センターは、地域の公衆衛生の中心となる公的機関であり、管内の地域のすべての人を対象に、疾病予防、健康の保持増進のための様々な活動を実施しており、その現場を知ることができます。また、福祉事務所の機能として福祉関係の活動も知ることができます。

研修計画例は・・・。

(1) 医療・薬事関係

- 薬務関係施設監視指導、薬物乱用防止対策
- 医療連携・在宅医療

(2) 保健、疾病予防、健康増進関係

- 母子保健（未熟児家庭訪問、育児不安解消サポート事業、養育医療・育成医療・小児慢性特定疾患治療研究事業などの医療給付等）
- 精神保健（精神保健相談、家庭訪問、措置鑑定対応、家族会への支援、地域活動支援センター等）
- 難病関係（家庭訪問、患者会への支援、特定疾患治療研究事業による医療費公費負担等）
- 感染症関係（感染症発生時の対応、エイズ相談検査、感染症発生動向調査等）
- 結核関係（定期外健診、DOTS事業、感染症診査協議会等）
- 栄養、健康づくり関係事業等

(3) 食品・生活衛生関係

- 食品関係施設の監視指導、食品収去検査、食中毒予防対応等

(4) 環境保全・廃棄物関係

- 廃棄物関係処理事業者への監視指導等

(5) 福祉関係

- 心身障害者福祉等

☆ 最後に、研修に来られた先生にインタビューしました。

先生、研修どう
でした？

病院という狭い世界のなかには、
知ることができなかった公衆衛生活動を多く学
べて大変参考になりました。いろんなところ
に出かけることができ、楽しかったです。

病院で医師が作成した、結核や公費
負担関係の診断書が、実際にどのよう
に取り扱われていくのか、流れがよく
わかり勉強になりました。

詳細は、福井健康福祉センターの
ホームページを見てね！

卒後臨床研修 地域保健・医療

「福井県奥越健康福祉センター（奥越保健所）」

【地域の概要】

奥越健康福祉センターは福井県の北東部に位置する大野市、勝山市を管轄しています。管内の人口は、平成20年4月1日現在で62,685人です（県人口の約7.7%）、年々減少傾向にあります。また、全国的に少子高齢化が進む中、高齢人口の割合が27.8%（17年度「国勢調査」）と本県の中で最も高く、いち早く高齢化社会に突入しています。

【組織と業務】

平成6年6月に地域保健法が成立し、都道府県と市町村の役割の見直しがなされ、平成9年4月に、住民に身近で頻度の高い母子保健サービス等の実施主体を市町村に変更する等、都道府県から市町村への権限委譲が全面施行されました。

このことに伴い、当センターにおいても県行政機構改革により、平成9年に大野、勝山両保健所が統合され奥越保健所（大野保健部、勝山保健部）となり、さらに平成12年には高志福祉事務所と統合され、奥越健康福祉センターとなりました。

組織と業務

当センターは、医師・保健師・栄養士・薬剤師・獣医師・診療放射線技師・事務職・その他の技術職等、多職種で構成されている組織であり、保健・医療・福祉および環境に関する「地域の総合的・専門的機関」として以下の課（室）において総合的なサービスを提供しています。

- 地域支援室（総務関係業務、保健統計・人口動態等各種調査、医務・薬務関係業務、管内市の保健・福祉・介護保険制度の推進への支援、健康危機管理体制の整備）
- 福祉保健課（精神保健福祉業務、特定疾患相談業務、母子保健指導業務、感染症対策業務、福祉業務、栄養関係業務）
- 環境衛生課（食品衛生関係業務、環境衛生関係業務、狂犬病予防・動物愛護等関係業務、公害防止関係業務、廃棄物関係業務）

研修指導医からひとこと

☆ 上医は国を治す？

「上医は国を治し、中医は人を治し、下医は病を治す」という有名な格言は、7世紀の『千金方』という中国の医方書の冒頭に記されているそうですが、そのルーツは春秋時代の古典『国語』のなかの晋語第8巻にある「上医は国を治し、人を治すはそれに次ぐ」という言葉だとのこと。

これとは別に1世紀ころの医学最古典、『素問』の四気調神大論篇には「聖人は発病後ではなく、発病前に治す」と記され、おまけに「発病してから投薬するのは、のどが乾いてから井戸を掘るようなものだ」という辛口の比喩までついているそうです。（こちらのルーツは『老子』だとのこと）

これらを 2000 年以上前に現代流の社会医学、予防医学の重要性を論じたものだ、などとは言いませんが、疾病の原因や究極の医学を深く考察した言葉であることは間違いないでしょう。

☆ 臨床医だけが医師の仕事？

さて・・・

皆さんのなかで、医学部に入学したときに、医師の仕事として臨床医以外をイメージできた人は少なかったことでしょう。今では医師に臨床医以外の職種が少しはあることをご理解いただいていることと思います。基礎研究に進むことを決め、臨床研修をしない同級生もいるかもしれません。

保健所も数少ない臨床医以外の医師が必要とされる職場です。ここで研修することにより、しばらくの間ですが、臨床を違った視点で客観的に見ることができ、将来医師として自分の進むべき道が、よりはっきり見えてくることと思います。

☆ 患者様は地域に戻る!!

人が健康的に生きてゆく上で、社会にどのようなシステムが必要でしょうか。

疾病に対する、という観点に絞ったとしても、臨床医療システムだけで十分でしょうか？

例えば、タバコを主要な原因として、がんなどになった患者がやってくるのを医療機関で待ち受け、しっかり治療する。それは確かに大切なシステムではありますが、本当にタバコから人の健康を守りたければ、タバコを飲み始めないような、また病気になる前にタバコをやめられるようなシステムも同じ重みで必要なはずです。

また、大規模感染症や食中毒の際、自分の診療場所に来る患者の治療をしっかりと行う。それは確かに大切なシステムですが、一方で感染源や感染ルート、食中毒の原因などを究明し、更なる拡大を防止するシステムもこれまた必要であり、大切なはずです。

さらに、通常、人は人生のほとんどの時間を病院外で過ごします。院内での姿は、そのひとにとって、あくまで特別な場所における特別な姿でしかありません。ほとんどの疾病は病院外で生じ、病院外で治癒します。外来などでの各種の指導は大切なシステムですが、院外でのその人の気持ちや行動を変容させるためには、それに加えて、院外でのシステムも必要であり、大切なはずです。

☆ 保健所研修では

これらの臨床以外のシステムは臨床と同様に、医師だけで構成されるものではなく、多職種により構成される共同作業となります。

保健所研修ではこのシステムの側に医師として身をおき、改めて人と健康について考えていただきます。もちろん臨床と同じで、理想的に物事は進みません。なぜうまくいかないのか、ではどうすればよいのか、を一緒に考えていただきます。

保健所の守備範囲は広く、これらのシステムの分野は数多くありますので、研修内容については希望に合わせ調整します。臨床医療以外のシステムに興味を持ち、自主的に取り組める方に研修に来ていただきたいと願っています。

福井大学研修医用案内書

福井県赤十字血液センター紹介

血液センターの仕事とは



血液は栄養や酸素の運搬、免疫など人間の生命を維持するために欠くことのできない機能を多く含んでいます。現在、血液の機能を完全に代替できる手段は存在しないため、医療において輸血は欠かすことができない治療法となっています。献血によって必要な血液を確保し続けなければ、現代医療は成り立たないのです。献血された血液は、赤血球、血小板、血漿などの輸血用血液製剤として使われるほか、血漿中の特定のタンパク質を抽出・精製した血漿分画製剤の原料として使用されます。

献血された血液は、血液センターに運ばれ、血液型検査や感染症予防のための抗原・抗体検査、献血後にお知らせする生化学検査などを行います。また、核酸増幅検査（NAT）を実施するための NAT 用検体はその日のうちに京都府の NAT 検査施設に運ばれ、24 時間体制で迅速に検査されます。



血液センターにて実施される検査

- 血液型検査：ABO 血液型検査、Rh 血液型検査、不規則抗体検査、HLA 検査（一部）
- 抗原・抗体検査：梅毒血清学的検査、B 型肝炎ウイルス検査（HBs 抗原、HBs 抗体 HBc 抗体）、C 型肝炎ウイルス検査（HCV 抗体）、エイズウイルス検査（HIV-1、2 抗体）、HTLV- 1 抗体検査、ヒトパルボウイルス B19 検査
- 生化学検査
- 血球計数検査（成分献血・400mL 献血者）
- 核酸増幅検査：B 型肝炎ウイルス検査、C 型肝炎ウイルス検査、エイズウイルス検査

現在の輸血医療は、必要な成分（赤血球、血漿、血小板）のみを輸血する成分輸血が主流になっています。400mL・200mL 献血による血液は、各成分の比重値の差を利用して赤血球、血漿、血小板に分離されます。分離された血液は、検査結果と照合し、すべて合格した血液のみが輸血用血液製剤となります。また、放射線照射輸血用血液製剤は、輸血後 GVHD を予防するために放射線が当てられます。

輸血用血液製剤・血漿分画製剤は、医療機関からの発注があるまで冷蔵庫や冷凍庫等でそれぞれの製剤に最も適した条件で保管され、医療機関からの発注が入り次第、迅速に供給されます。



福井大学研修医案内書

血液センターの医師の仕事

血液センターには安全な血液を必要ときに必要な量を迅速に供給する事が求められています。その中で、医師の仕事としては、献血者の安全確保とともに安全な血液の確保が重要となっています。

安全な血液確保の第一歩は、健康な方から献血して頂くために、献血を申し込まれた方の身体状況や病歴、服薬状況、危険な性行動の有無などを、問診にて聴取することにあります。

問診内容の多くはマニュアル化されていますが、全てを網羅できないわけではなく、医師としての専門知識を基にした医学的判断を求められることも少なくありません。判断の基準は

- ① 献血に際し献血者に健康被害が起こる危険性がないか。
 - ② 献血して頂いた血液が安全な輸血用血液として使用できるか。
- になります。特にH I V等の各種ウイルス感染について、検査では陽性とならないが感染は起こりうる「ウインドウ・ピリオド」の期間の献血を排除することができるかどうかは問診に係っています。

また、献血者の健康管理も医師の仕事です。献血後の血管迷走神経反射（VVR）は 1～4%の献血者に起こります。多くは安静臥床のみで改善しますが、治療が必要とされることもあり、検診医師の重要な仕事の一つです。献血不適となる方の生活指導も必要です。血圧、貧血、肥満（メタボリックシンドローム）についての指導が中心です。適切な生活指導は献血者確保に有用です。その他献血者の一般健康相談、献血後の検査結果の相談、説明、指導を求められることもあります。



血液センターにて研修して頂きたいこと

冒頭に記述したように医療において輸血は欠かすことができない治療法となっています。献血によって必要な血液を確保し続けなければ、現代医療は成り立たないのです。輸血医療は善意の献血により成り立っていることをまず認識して下さい。



次に、今後皆様の患者様に使用する血液が安全・安心であるために献血者選択に医師がいかに重要な役割を果たしているか、どのような注意が必要かを実際に検診を行い体験して下さい。

献血者の安全を守るために必要な知識・技術も身につけて下さい。

安全な輸血用血液確保のため導入された対策・・・初流血除去、保存前白血球除去・・・を理解して下さい。献血された血液がどのようにして、臨床の現場に届くかを知って下さい。採血現場の状況も見学して、今後の自己血輸血や緊急時の院内採血の参考にして下さい。

血液センターでの見学、実習、体験が輸血医療を含む今後の臨床の場において必ず皆様のお役に立つことがあるものと思います。血液センターでの研修よろしくお願ひします。

血液センター卒後研修プログラム

福井県赤十字血液センター臨床研修プログラム

[到達目標]

(1) 一般目標

現在、血液の機能を完全に代替できる手段は存在しないため、献血によって安全な血液を確保し続けなければ、現代医療は成り立たない。安全な輸血医療を行える医師となるために、血液センターの役割を知り血液事業への理解を深める。

(2) 行動目標

- ① 献血者の検診を通じて、輸血用血液が善意の献血にて賄われていることを理解する。
- ② 献血者の安全を守るために必要な問診技術、採血副作用の対処法を身につける
- ③ 血液センターの働きを知り、輸血副作用防止、感染防止等の努力を理解し、その限界も知ることにより臨床の場での輸血医療の安全性を向上させる。

(3) 経験目標

- ① 血液センターの見学・オリエンテーションにより血液センターの仕事を知る
- ② 安全な血液確保と、安全な献血ために必要な問診を行える
- ③ 採血副作用（血管迷走神経反射、神経損傷、内出血）に適切に対応できる。
- ④ 移動献血車に同乗し、地域・職域の移動採血の実務を体験し、献血への理解を深める。

(4) 研修方法・指導体制

① オリエンテーション

1. 講義・見学・実習

2. 指導者 豊岡 重剛

(所長：指導医 生物由来製品副製造管理者・採血統括者)

南 有子 (医師：指導医)

採血課長 (採血管理責任者)、技術課長 (生物由来製品副製造管理者)

業務課長、供給課長

② 血液センター（固定施設）での採血の実務（献血者の検診）

1. 実習 血液センターでの献血者の検診

2. 指導者 豊岡 重剛 (所長：指導医)

南 有子 (医師：指導医)

採血課長 (採血管理責任者) もしくは採血責任者

③ 移動献血車での移動採血の実務（献血者の検診）

1. 実習 移動献血車での献血者の検診

2. 指導者 豊岡 重剛 (所長：指導医)

南 有子 (医師：指導医)

採血課長 (採血管理責任者) もしくは採血責任者

(5) 安全対策

血液センター・移動採血車共に研修医が検診業務を担当する場合、献血者に異常があるときは、必要に応じて指導医に電話もしくは直接指示を受けること、および緊急時には近隣医療機関との連携のもとに適切な対応をとることとする。

血液センター卒後研修プログラム

(6) スケジュール

① 1週間コース

	年度始め
午前	オリエンテーション 講義
午後	講義 実習

1週目	月	火	水	木	金
	固定施設内 実地研修 (検診・問診)	移動採血 実地研修 (検診・問診)	移動採血 実地研修 (検診・問診)	移動採血 実地研修 (検診・問診)	移動採血 実地研修 (検診・問診)

② 1ヶ月コース(2週間コース)

	年度始め
午前	オリエンテーション 講義
午後	講義 実習

1週目	月	火	水	木	金
	固定施設内 実地研修 (検診・問診)	移動採血 実地研修 (検診・問診)	センター実習 (供給の実際)	移動採血 実地研修 (検診・問診)	移動採血 実地研修 (検診・問診)

2週目	月	火	水	木	金
	地域医療施設研修(穂仁会大滝病院) 研修内容は大滝病院参照				

3週目	日	月	火	水	木	金
	移動採血 実地研修 (検診・問診)	代休	北陸血液センター研修* (検査・製剤・供給)	移動採血 実地研修 (検診・問診)	移動採血 実地研修 (検診・問診)	固定施設内 実地研修 (検診・問診)

4週目	月	火	水	木	金
	保健所研修(福井、奥越、丹南、坂井) 研修内容は保健所研修参照				

* 注記 北陸血液センター(石川県赤十字血液センター)は福井県で献血された血液の検査・製剤を行なっている。また北陸三県の血液供給の中心となっているため福井県の輸血事業の理解のためには有用な研修と思われる。

平成 21 年 4 月実施

作成平成 20 年 8 月 28 日